



第145号

インターチェンジ

淡路島中央スマートIC 2月17日(土)午後3時開通!

洲本の新しい玄関口「淡路島中央スマートIC」がいよいよ開通。新たな人・物の交流が期待されます。



※写真の一部を加工しています。

2018.2
ラインアップ

- 特集 淡路島中央スマートIC開通 P2-5
洲本市長選挙・市議会議員選挙について P6
証明書コンビニ交付サービス開始 P7
平成30年度特定健診、がん検診のお知らせ P8
高齢者肺炎球菌予防接種、
電子ハザードマップほか P9
まちづくりニュース P10-11

- 市営住宅・県営住宅の入居者募集ほか P12
各種お知らせ P13
くらしのいきいき情報 P14-15
地域子育て支援拠点施設ほか P16
3月の健康カレンダーほか P17
公共施設からのお知らせ P18-19
まちかどトピックス P20

人口44,727人

男21,359人 女23,368人

世帯数19,996世帯 (平成30年2月1日現在・住民基本台帳による)

淡路島中央スマートICが 2月17日(土)午後3時に開通!

ETC専用



航空写真提供：With Awaji

市長あいさつ



いよいよ待ちに待った
淡路島中央スマートイン
ターチェンジ（スマート
IC）が開通します。こ
のスマートICは、平成
25年6月に国土交通大臣
から連結許可を受け、本
四高速株式会社とともに
整備に着手いたしました。平成29年8月には、インター
チエンジの名称が「淡路島中央スマートインターチエ
ンジ」と決まりました。

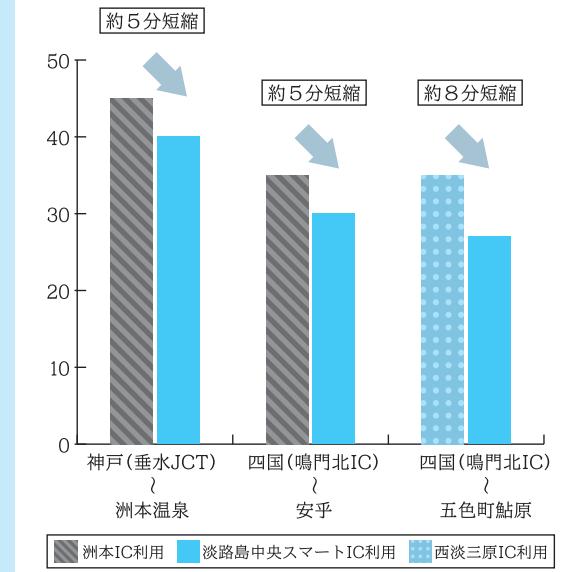
この名称は、淡路島の知名度を生かし、淡路島に中
央をつけることで、淡路島の中央にある洲本市に設置
されるスマートICの位置関係を明確にすることがで
きるとともに、洲本市の新たな玄関口として、淡路島
の中央から淡路島全域への広がりをイメージできる名
称であることから名付けられました。

このスマートICの完成により、観光振興や企業立
地などの整備効果が市内全域・淡路島全域に広がつて
いくことを期待しております。
ここに開通を迎えることができましたのは、国、県
関係各位をはじめ、国会議員、県議会議員、市議会議員、
用地提供者および地元関係者の皆さまの深いご理解と
ご支援のたまものであり、厚くお礼申し上げます。

中川原町市原で整備を進めていた「淡路島中央スマートイ
ンターチェンジ」（以下、「スマートIC」という。）が、平成
30年2月17日(土)午後3時に開通します。
今月号では、スマートICの利用方法や、開通によつて私
たちが暮らす洲本、そして淡路島にもたらす効果を紹介します。

高速道路の利便性の向上

スマートICの開通により、高速道路へのアクセス性が高まります。そして、目的地への移動時間が短くなり、これまで以上に高速道路が使いやすくなります。



例えば、神戸市(垂水JCT) → 洲本市中心部が約5~8分の移動時間の短縮が見込まれます。

高度な医療サービスへのアクセス性の向上

スマートICの開通により、島内唯一の3次救急病院※である県立淡路医療センターへの搬送時間が短くなり、30分以内に同センターへ搬送できる範囲が広くなります。そのため、重篤患者の生存率が上がることになります。

※3次救急病院
供する医療機関
療を24時間体制で提
心肺停止や大量出血
など、生命の危機に
関わる状況にある患
者に対し、高度な医
療サービスを提供す
る

企業立地環境の向上

スマートIC計画決定後、精密機器、飼料化リサイクル、食品加工化リゾート開発の分野の4社が洲本市に進出しています。今後は、さらに企業進出に弾みがくことが期待されます。



観光資源へのアクセス性の向上

洲本市には、有名な洲本温泉や豊かな自然環境、歴史ある文化財、農物収穫・マリンレジャー体験施設、カフェなど、観光資源が多数点在しています。スマートICの開通により、市の東部と西部どちらの観光施設にも行きやすくなり、さらなる観光産業の活性化が期待されます。



大浜海岸



白菴城跡（五色町鮎原三野畠）

～淡路島中央スマートICに期待することとは～

「開通による交流人口の増加で、地域経済の活性化を」



洲本商工会議所会頭
木下 純一さん（75歳）

スマートICの開通により、島外の人にとって洲本市、そして淡路島がより身近になり、交流人口が増えると思います。例えば、春秋の恒例イベントとなっている「城下町洲本レトロなまち歩き」には、島外から多くの観光客が洲本を訪れます。スマートICの開通で、市街地へのアクセスがより便利になりますから、これまで以上に人を呼び込み、さらに魅力あるイベントになってほしいです。また、洲本の商工業が活性化するためにも、スマートICから各方面に向かうルート上でも店舗や施設に立ち寄ってもらい、地域経済が活性化してほしいですね。

これからは、開通によって淡路島・洲本へ行きやすくなったことをPRし、さらに島外から多くの人に来ていただき、淡路島の魅力を味わってほしいです。産業の振興がさらにまちの活性化につながることを期待しています。



「渋滞の緩和と定住・交流人口の増加に期待」



（一社）淡路島観光協会会長
樺本 文昭さん（65歳）

開通が洲本のまちにもたらす効果について、私は2つのこと期待します。1つ目は、渋滞の緩和です。夏の海水浴シーズンやゴールデンウィークなどの繁盛期には、洲本IC周辺が大変混雑しています。開通によって新しいルートができるので、交通量が分散し、渋滞が緩和されるのではないかでしょうか。

2つ目は、交流人口の増加です。最近では、自然の風景や食材に魅力を感じ、空き家や古民家を活用した店舗を出店する京阪神の若い人が増えています。開通によって豊かな自然が残る五色地域へのアクセシビリティも向上するので、出店し生活を楽しみながら過ごす人が増えてほしいです。そして、そんな店舗を散策しに洲本を訪れる人が増えればうれしいですね。観光協会では、こうした店舗の情報をとりまとめ、連携していくたいです。

「開通をきっかけに、地域のつながりを強めたい」



市原町内会会長
山岡 一輝さん（68歳）

春祭りで獅子舞を奉納するのが恒例でしたが、約10年前から担い手不足のため、行うことができませんでした。

しかし、2年前にスマートICの開通式で獅子舞奉納を披露することが決まったのを契機に、練習を復活しました。週に1回、若い人を含め、さまざまな世代と一緒に練習しています。

春祭りで獅子舞奉納を続けられるよう、今後も練習を続け、地域のつながりを強めたいです。そして、開通によって観光客が増えると思うので、地域のみんなでにぎわいづくりに取り組み、地域を盛り上げていきたいですね。



洲本市は、国・県・商工団体・観光団体などと連携してスマートICの開通を淡路島内外へ定期的にPRし、スマートICの整備効果がしっかりと発揮できるよう進めます。

【スマートICに関すること】

企画課 ☎ 24-7614
【周辺道路、市営駐車場に関するこ
と】

建設課 ☎ 22-3421

